

「農業委員会による地域計画に向けた目標地図の案づくり」

京都府 南山城村農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	14人
○ 農地利用最適化推進委員	:	5人
○ 事務局職員	:	4人
○ (関係団体名)	:	
○ 市町村行政との連携状況	:	

村農政担当課が事務局を兼務している。



2 地区の特徴、状況、課題

- 南山城村は人口は約2,500人の京都府唯一の村で、三重、奈良、滋賀に接した中山間地域です。
- 宇治茶の主産地として茶業が盛んで、原木椎茸やトマト、ブルーベリーも特産品として生産されています。
- 人口減少に起因する担い手不足が顕在化しているが、抜本的な解消策を確立できていないのが現状です。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 農業委員会総会後の地区連絡会議において、6地区に分かれて「地域計画」に係る現況地図の確認・修正作業を実施
- 話し合いの中で現況耕作者の確認において、委員の知らない農地や耕作者が多数ありこれからの農地保全においての課題を改めて認識できる場となっ
- 地域計画における農業委員のミッションとして現況地図の作成や次のステップである目標地図素案の作成について意識を持つことができた。地域の農地について

4 成果（「地域計画」の策定に向けた取組内容）

一部の集落では、「地域計画」に係る現況地図の確認が終了しつつある。

令和6年2月までにすべての地域の現況地図を完成させ、その後アンケート等を聴取し目標地図の素案作成に向けて引き続き取り組む。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください